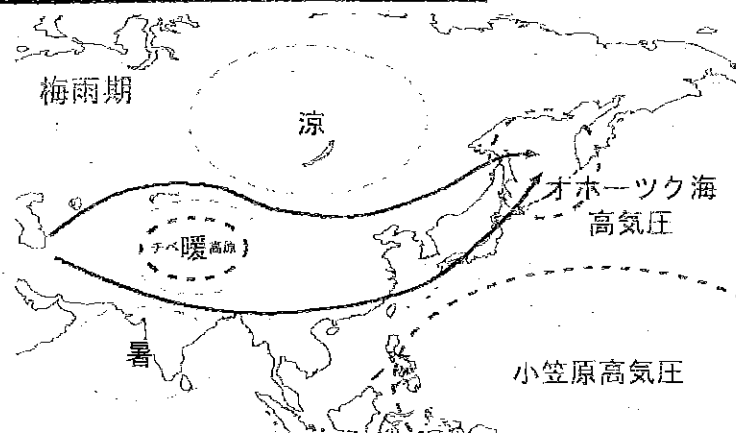


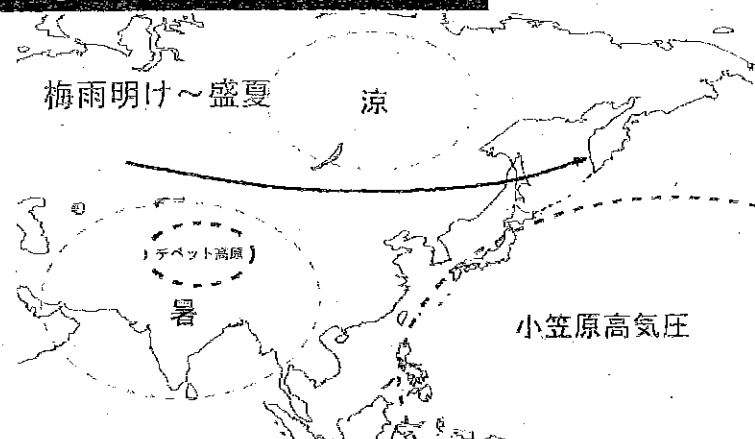
梅雨の仕組み② 上空の流れ



- ☐ チベット高原が暖くなると、ジェット気流が北側にも出現
- ☐ 両方のジェット気流がオホーツク海で集まるので、高気圧ができる
- ☐ これによって、梅雨が始まる

24

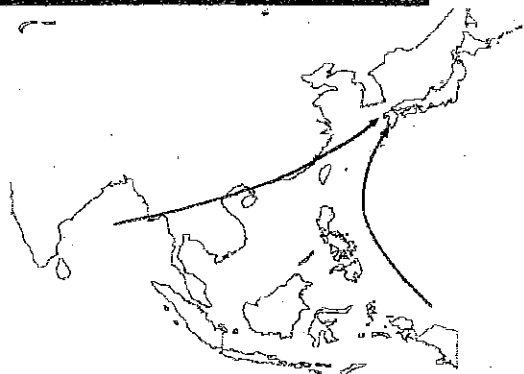
梅雨の仕組み② 上空の流れ



- ☐ チベットが完全に暖まると、南側のジェットが消える
- ☐ オホーツク海上空での空気の集まりがなくなるので、高気圧も弱まる
- ☐ 小笠原高気圧が日本を支配＝梅雨明け

25

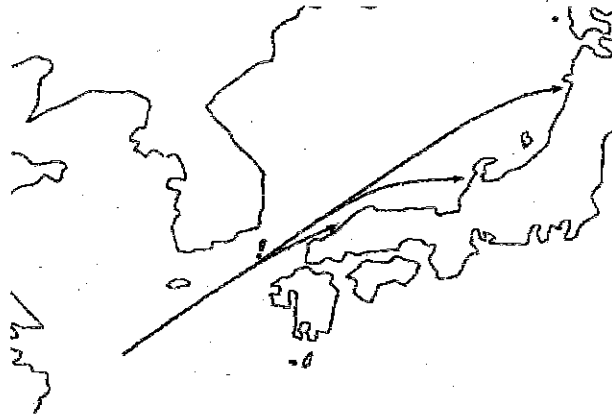
大雨の仕組み③ 2つのベルトコンベアー



- ☐ 大雨をもたらす水蒸気は
 - 小笠原高気圧の周辺を回り込む南風
 - ベンガル湾から中国南部を越えて流れ込む南西風
- ☐ で運ばれる

26

大雨の仕組み④ 日本海側の大雨



- ☐ 日本海で大雨になるときは
- ☐ 対馬海峡を通して水蒸気が運ばれる
- ☐ この南西～西よりの気流に直交する海岸線で大雨が降りやすい

27

大雨の仕組み(関係する自然環境)

1. 梅雨前線←浅くて冷たいオホーツク海と暖かい太平洋
2. 上空のジェット気流←チベット高原とヒマラヤ山脈, その南の暑いインドア大陸, 北の寒いシベリア大陸
3. ベルトコンベアー←ベンガル湾から中国南部の地峡
4. 日本海側への水蒸気流入←対馬海峡と海岸線の走向

28

まとめ

□ 気候の特色

- 四季の変化(気温は日本の平均値に近い)
- 降水はやや多め
- 自然災害(大雪, 大雨(洪水)などなど)が多い

□ 災害をもたらす気象現象

- 季節風, 梅雨前線, 日本海低気圧などなど
- 地球規模の自然環境の影響がみられる
- 防災・減災にはこれらの背景を理解することも大切

29

参考資料

□ 気象資料・天気図

- 松江地方気象台, 気象庁ホームページ

□ 新聞紙面

- 松陽新報, 島根新聞, 山陰中央新報(島根大学図書館所蔵)

□ その他

- 宮沢(1991), 永田ら(1986)ほか

30

ご静聴ありがとうございました